

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	市民活動部観光商工課担当課長 小澤 圭介
市民－13 観光施設整備事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 観光商工課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光
	施策の方針	安全で快適な観光空間の整備

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できるようにするため。
効果	観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

観光案内板等の新設・改修・修繕を行った。
 公衆トイレの修繕を行い、清潔で快適な空間確保に努めると共に、ハイキングコースの安全の確保を行った。
 鶴岡八幡宮裏公衆トイレ修繕設計業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度繰越しを行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
事業の対象者数					事業の対象者数			・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	30,570	11,505		当初予算(千円)	98,864		
	国県支出金	19,531	170		国県支出金	20,192		
	地方債				地方債			
	その他		6,650		その他	11,200		
	一般財源	11,039	4,685		一般財源	67,472		
	人員配置数	1.5	1.0		人員配置数	1.0		
事業経費運営	人件費(千円)	11,467	8,081		人件費(千円)	8,398		
	総事業費(千円)	42,037	19,586		総事業費(千円)	107,262		
	市民1人当りの経費(円)	237	111		市民1人当りの経費(円)	606		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
公 平 性	事業の成果は得られているか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 公益財団法人鎌倉風致保存会
	協働実施済の場合のパートナー	公益財団法人鎌倉風致保存会
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
	東京オリンピック・パラリンピックに向けて増加が見込まれる観光客に対応するため、屋外型Wi-Fi接続設備の増設を図るとともに、民間が行う公衆トイレの整備に対する費用助成制度を創設し、運用する。	事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 東京オリンピック・パラリンピックに向けて増加が見込まれる観光客に対応するため、公衆トイレをはじめとする施設整備を拡充する必要があるため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	施設整備については、老朽化の確認を行い安全性に考慮し、建て替え又は修繕を適宜行っていく必要がある。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	観光客が集中する地域に公衆トイレを整備するには、財源や用地確保を検討する必要がある。 ハイキングコースは、落石や倒木など、危険箇所の把握と整備を実施する必要がある。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	妙本寺公衆トイレ設計・地質調査業務委託を行った。また、市内に新たに出店したコンビニエンスストアに対し、観光客にトイレを無償で提供するトイレ協力店として協力を求め、承諾を得た。 民間が主体となって公衆トイレを設置するのに際し、金銭的に補助をするための「鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金交付取扱要綱」を制定した。 各地ハイキングコースの危険箇所3箇所の整備として、危険木の処分を行った。 クラウドファンディングを活用し、名所掲示板1基(大船観音寺)の作成を行った。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	観光客の集中する地域のトイレの新設については、用地や財源の確保を検討する必要がある。 また、「鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金交付取扱要綱」をより活用してもらうような周知啓発を行っていく必要がある。 ハイキングコースについては、引き続き、落石や倒木などの危険箇所の把握と整備を実施していく。 Wi-Fi環境整備事業は、整備エリアを含め、Wi-Fi接続設備の拡大を図る必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成26年) (単位:千人)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	21,960	17,738	2,627	7,075	4,514	7,847	800	5,707	44,258
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ延観光客が訪れており、観光案内所利用者も相対的に他市町村に比べ多いことが伺える。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度（来訪者アンケート＋WEBアンケート）					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%			
	実績値	79.2%	79.5%							
	達成率	93.2%	93.5%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--